

原水爆禁止2020年世界大会へのメッセージ

広島・長崎に原爆が投下されてから、75回目の夏を迎えようとしています。

日本は、世界で唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさを世界中の人々に伝え続け、後世に語り継いでいかななくてはなりません。

所沢市では、戦争による悲惨な体験を風化させることなく、平和の尊さを後世に伝えていくため、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に市民代表を派遣する「広島平和記念式典参加事業」のほか、市内小・中学校等において、被爆体験者と戦争体験者である語り部に御講話いただく「平和を語る会」など、各種平和推進事業に取り組んでおります。

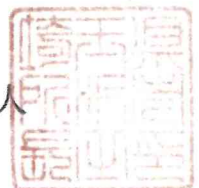
私としましても、戦争も紛争も無い、そして「核兵器のない世界」が実現し、世界の恒久平和が一日も早く実現されることを願っております。

結びに、この度の「原水爆禁止2020年世界大会」が多くの成果を収められ、「核兵器の廃絶」が早期に実現されることを心よりお祈りいたします。

令和2年8月

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

所沢市長 藤本 正人



原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）のご開催を
心からお喜び申し上げます。

核兵器の廃絶を求めて格別のご尽力を続ける皆様に深く
敬意を表します。

「平和都市」であることを宣言した蕨市の市長として、世
界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を強く願うととも
に、本大会のご盛会を心から祈念申し上げます。

令和二年八月吉日

埼玉県蕨市長 頼高英雄

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

原水爆禁止二〇二〇年世界大会のご盛会を心からお喜び
申し上げます。

核兵器のない平和な二十一世紀の実現のため、貴会の更な
るご活躍を祈念申し上げます。

令和二年七月吉日

戸田市長 菅原 文仁

原水爆禁止 2020年世界大会（オンライン） メッセージ

吉見町では、西暦2000年に、世界の恒久平和の願いを込めた平和都市を宣言しました。これを受け、平和意識の醸成及び平和都市宣言の普及啓発のための事業に取り組んでまいりました。

引き続き、全世界に暮らす人々のかけがえのない命を大切にし、限りない繁栄と平和社会の実現を願って、地域で取り組めることを一步一步着実に進めてまいり所存です。

結びに、核兵器のない平和で公正な世界の一日も早い実現と原水爆禁止2020世界大会の御成功を祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

吉見町長 宮崎善雄